

日本カーリット(株)横浜工場における爆発火災の火災原因調査中間報告

1 損害調査

次の被害を確認し、損害算定及び実況見分書を作成中です。

(1) 人的被害

負傷者：12 人（軽症 9 人、中等症 3 人）

(2) 物的被害

ア 工場敷地内

全焼 3 棟、半焼 1 棟 計 4 棟

全壊 4 棟、半壊 3 棟、部分壊 6 棟 計 13 棟

イ 工場周辺（5 月 10 日現在）

建物の一部破損等：82 棟 車両：69 台 動産・その他の工作物：10 件

2 原因調査

- (1) 現場の実況見分では、有機製造室内の 1,500 リットルオートクレーブ下部の破断が確認されたことから、次の点について工場関係者から詳細な状況の聴取と原材料及び各種資料を収集しました。

ア 使用した原材料の適否

イ 作業工程、設備操作等の適否

ウ 各種設備等の適否等

- (2) 原因究明のため、各関係機関と次の点について連携するとともに支援を受けています。

ア 総務省消防庁消防研究センター

出火メカニズム解明のための専門的・総合的支援、原材料の各種試験及び鑑定

イ 神奈川県警察

合同の実況見分、情報交換、押収資料等の提供

ウ その他の機関

防災科学技術研究所地震研究部、神奈川県産業技術センター、発注事業者、オートクレーブ製造会社など

- (3) 火災に至った原因の検討経過

これまでの調査活動で得られた情報から、オートクレーブ内での現象を推定するため、合成作業で用いた 3 種類の原材料の熱分析試験を消防研究センター等で実施しました。

この熱分析試験の途中経過についての説明では、一定温度まで加熱し温度制御しない状態におくと、以降は加熱しなくても発熱反応が始まり、その後には、急激な温度と圧力の上昇が確認されたとのことです。

このことから、正式な試験結果を待って、当日の作業手順や関係者からの聞き取り結果などを合わせて、総合的な検討のもと、オートクレーブが爆発した原因調査を引き続き進めてまいります。